

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 10-063749

(43)Date of publication of application: 08.03.1998

(51)Int Cl

G06F 19/00
G06F 17/60
G06F 17/30
G07G 1/14

(21)Application number: 08-222854 (71)Applicant: HITACHI LTD

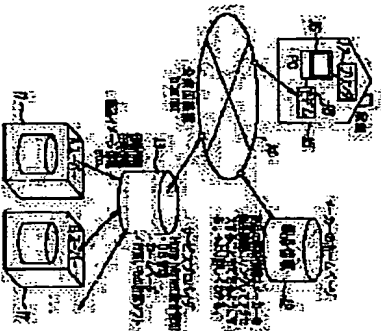
(22)Date of filing: 23.08.1996 (72)Inventor: KUBOTA HIROSHIGE
YAMADERA HITOSHI
MASAJI SHIGEKI

(54) METHOD AND SYSTEM FOR PROVIDING COMMODITY INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To support shopping by making it possible to retrieve the detailed information on a commodity desired to be purchased by a user and which store sells the commodity at a discount price.

SOLUTION: Commodity information is provided by retrieving an electronic commodity information database. The database are provided from plural stores and managed by a service provider 13. A user 15 can know the detailed information, price, etc., of a required commodity by accessing each database by using a store name, a commodity sort, a discount article or the like as a key and use the obtained data for shopping. A commodity to be purchased by mail order can be reserved by determining its purchase on the way of access to the database.



(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-63749

(43)公開日 平成10年(1998)3月6日

(51)Int. Cl.⁸G 0 6 F 19/00
G 0 6 F 17/60
G 0 6 F 17/30
G 0 7 G 1/14

識別記号 庁内整理番号

F 1
G 0 6 F 15/24
G 0 7 G 1/14
G 0 6 F 15/21
G 0 6 F 15/40

技術表示箇所

3 3 0
3 1 0 F
3 7 0 Z

審査請求 未請求 請求項の数60

O L

(全14頁)

(21)出願番号

特願平8-222854

(71)出願人 00005108
株式会社日立製作所

(22)出願日

平成8年(1996)8月23日

(72)発明者 久保田 太栄
東京都千代田区神田数河台四丁目6番地(72)発明者 山寺 仁
東京都国分寺市東郷ケ植一丁目280番地
株式会社日立製作所デザイン研究所内(72)発明者 枝文 茂貴
東京都国分寺市栗郷ケ植一丁目280番地
株式会社日立製作所デザイン研究所内

(74)代理人 井理士 武 頼太郎

(54)【発明の名称】 商品情報提示方法及びシステム

(57)【要約】

【課題】 ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入ることができるかを検索可能として買物の支援を図る。

【解決手段】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を提供し、データベースは、サービスプロバイダが多数の販売店から提供されて管理される。利用者は、販売店名、商品ジャンル、特売品等をキーとしてデータベースをアクセスし、所望の商品の詳細情報、価格等をしり、買物に役立てることができる。また、通信販売で購入できる商品については、データベースへのアクセスの途中で購入を決定して申し込むことができる。

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法を入力するメニューと、複数の店舗名を表示するメニューと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するメニューと、選択された前記店舗名において取り扱われている商品と表示するメニューとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項2】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項1記載の商品情報提示方法。

【請求項3】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するメニューと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するメニューとをさらに有することを特徴とする請求項1または2記載の商品情報提示方法。

【請求項4】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項1、2または3記載の商品情報提示方法。

【請求項5】 前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示することを特徴とする請求項1ないし4のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項6】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項1ないし5のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項7】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに店舗を選択して検索する方法を選択するメニューと、複数の店舗名を表示するメニューと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するメニューと、選択された前記店舗名において取り扱われている商品と表示するメニューとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項8】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項8記載の商品情報提示方法。

【請求項9】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するメニューと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するメニューとをさらに有することを特徴とする請求項7または8記載の商品情報提示方法。

【請求項10】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項7、8または9記

敬の商品情報提示方法。

【請求項11】 前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示することを特徴とする請求項1ないし10のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項12】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項7ないし11のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項13】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択して検索する方法を選択するメニューと、利用者が任意の商品名または商品種別を選択するメニューと、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示するメニューとを有し、前記商品を、それを取り扱う店舗と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項14】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項13記載の商品情報提示方法。

【請求項15】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するメニューと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するメニューとをさらに有することを特徴とする請求項13または14記載の商品情報提示方法。

【請求項16】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項13、14または15記載の商品情報提示方法。

【請求項17】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項13ないし16のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項18】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択するメニューと、利用者が任意の商品名または商品種別を選択するメニューと、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示するメニューとを有し、前記商品を取り扱う店舗と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項19】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項18記載の商品情報提示方

3

法。

【請求項20】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するメニューと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するメニューとをさらに有することを特徴とする請求項18または19記載の商品情報提示方法。

【請求項21】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項18、19または20記載の商品情報提示方法。

【請求項22】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項18ないし21のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項23】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法として特売品と検索する方法を選択するメニューと、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択するメニューと、前記特売品の商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示するメニューとを有することを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項24】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項23記載の商品情報提示方法。

【請求項25】 前記特売品を、それを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示することを特徴とする請求項23または24記載の商品情報提示方法。

【請求項26】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択するメニューと、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するメニューとをさらに有する構成とを特徴とする請求項23、24または25記載の商品情報提示方法。

【請求項27】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項23ないし26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項28】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項23ないし27のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項29】 選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表として表示するメニューとをさらに有すること

4

特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項30】 選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示するメニューとをさらに有することを特徴とする請求項3、9、15、20、26のうちいずれか1記載の商品情報提示方法。

【請求項31】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法を入力する検索方法入力手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗名において取り扱われている商品と表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項32】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項31記載の商品情報提示システム。

【請求項33】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項31または32記載の商品情報提示システム。

【請求項34】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するメニューと、選択された前記商品を通信販売で購入するか否かを利用者が選択するメニューとを有することを特徴とする請求項31、32または33記載の商品情報提示システム。

【請求項35】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項31ないし34のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項36】 無線通信モデム使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項31ないし35のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項37】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに店舗を選択して検索する方法を選択する店舗名選択手段と、複数の店舗名を表示する店舗名表示手段と、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗名において取り扱われている商品と表示する商品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項38】 前記商品情報は、通信回線を通じて、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項37記載の商品情報提示シ

ラム。

【請求項9】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを付与するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項37または38記載の商品情報提示システム。

【請求項40】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するマークと、選択された前記商品を選択販売で購入するか否かを利用者が選択するマークとを有することを特徴とする請求項37、38または39記載の商品情報提示システム。

【請求項41】 前記店舗名を前記店舗の位置を示す地図と共に表示する店舗位置表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項37ないし40のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項42】 無線通信モジュール使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項37ないし41のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項43】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法としてはじめに商品名または商品種別を選択して検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が任意の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、選択された前記商品名または前記商品種別に関連した商品を表示する商品表示手段と、前記商品とそれを取り扱う店舗と共に表示し、前記商品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項44】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項43記載の商品情報提示システム。

【請求項45】 表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択する商品選択手段と、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを付与するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項43または44記載の商品情報提示システム。

【請求項46】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するマークと、選択された前記商品を選択販売で購入するか否かを利用者が選択するマークとを有することを特徴とする請求項43、44または45記載の商品情報提示システム。

【請求項47】 無線通信モジュール使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項43ないし46のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項48】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択することが可能な検索方法選択手段と、特売品を取り扱う少なくとも1つの店舗名を表示する店舗名表示手段と、表示された前記店舗名から任意の店舗名を利用者が選択する店舗名選択手段と、選択された前記店舗において取り扱われている特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項49】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項48記載の商品情報提示システム。

【請求項50】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択する特売品選択手段と、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項48または49記載の商品情報提示システム。

【請求項51】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するマークと、選択された前記商品を選択販売で購入するか否かを利用者が選択するマークとを有することを特徴とする請求項48、49または50記載の商品情報提示システム。

【請求項52】 無線通信モジュール使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項48ないし51のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項53】 電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示システムにおいて、利用者が商品情報の検索方法として特売品を検索する方法を選択可能な検索方法選択手段と、利用者が検索しようとする特売品の商品名または商品種別を選択する商品名・商品種別選択手段と、前記商品名または前記商品種別に関連した特売品を表示する特売品表示手段とを備えることを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項54】 前記商品情報は、通信回線を介して、あるいは、その一部を記憶媒体から取り出して提示されることを特徴とする請求項53記載の商品情報提示システム。

【請求項55】 前記特売品とそれを取り扱う店舗名と共に表示し、前記特売品を取り扱う店舗が複数ある場合、複数の前記店舗名を表示する店舗名表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項53または54記載の商品情報提示システム。

商品情報処理方法。

【請求項56】 表示された前記商品が通信販売可能であるか否かを表示するマークと、選択された前記商品を選択販売で購入するか否かを利用者が選択するマークとを有することを特徴とする請求項53、54または55記載の商品情報提示システム。

【請求項57】 表示された前記特売品の中から利用者が任意の特売品を選択する特売品選択手段と、選択された前記特売品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマーク表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項53ないし56のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項58】 無線通信モジュール使用することにより、利用場所を認識し、前記利用場所近傍の店舗及び前記店舗で取り扱う商品に関する情報を提示することを特徴とする請求項53ないし57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項59】 選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表に表示する一覧表表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項33、39、45、50、57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【請求項60】 選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示する売場レイアウト表示手段とをさらに備えることを特徴とする請求項33、39、45、50、57のうちいずれか1記載の商品情報提示システム。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】 本発明は、商品情報提示方法及びシステムに係り、特に、食料品、衣料品、日用品等の商品の価格情報等を電子化して簡単に検索可能とし、買物の支援を図るために使用して好適な商品情報提示方法及びシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、商品情報は、新聞の折り込み等により配布される販売店毎のチラシ等から得るのが一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前述のチラシにより商品情報を得る方法は、目的の品物の見つかる感、どの店が一番安い等を知るためには、多くの販売店毎のチラシを見て比較しなければならぬために多くの手間を必要とし、また、チラシに掲載されていない品物について、売価が判らず、目的とする品物があるか否かも判らないという問題を有している。また、チラシでは、品物の詳細について判らない点が多く、特売品等があっても、購入のために販売店に行くときに売り切れの場合も多いという問題点があり、さらに、初めての販売店の場合、店の場所、売価等が判りにくい場合が多いという問題点を有している。

【0004】 買物リストを作成し、チラシから必要な品

物の値段、販売店を書き出すようにする方法もあるが、この方法は、たくさん品物についてこれらを書き出すことが面倒であるという問題点を有している。

【0005】 本発明の目的は、前述のチラシによる商品情報の提示の問題点を解決し、ネットワークを介して、インターネット上で、ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能とし、販売店毎の品物の比較、価格の比較を容易に行うことができるようにして、買物の支援を図ることのできる商品情報提示方法及びシステムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明によれば前記目的は、電子化された商品情報のデータベースを検索することにより商品情報を得る商品情報提示方法において、利用者が商品情報の検索方法を入力するマークと、複数の店舗名を表示するマークと、前記複数の店舗名から任意の店舗名を利用者が選択するマークと、選択された前記店舗において取り扱われている商品を表示するマークとを備えることにより達成される。

【0007】 前記目的は、表示された前記商品の中から利用者が任意の商品を選択するマークと、選択された前記商品に購入予定として他の商品と区別するためのマークを表示するマークとをさらに備え、また、前記店舗名を、前記店舗の位置を示す地図と共に表示するようにすることにより達成される。

【0008】 前記目的は、前記商品情報の検索方法として、店舗を選択して検索する方法、商品種別を選択して検索する方法、特売品を選択して検索する方法の1つを選択可能とすることにより、さらに、特売品を選択して検索する方法が指定された場合、店舗を選択して検索する方法、商品種別を選択して検索する方法のいずれかを検索可能とすることにより達成される。

【0009】 前記目的は、選択した商品とそれを取り扱う店舗とを一覧表として表示するマークを備え、また、選択した商品を取り扱う店舗の売場レイアウトを表示するマークを備えることにより達成される。

【0010】 また、前記目的は、前述の各マークの処理を実行する手段を備えることにより達成される。

【0011】

【発明の実施の形態】 以下、本発明による商品情報提示方法及びシステムの実施形態を図面により詳細に説明する。

【0012】 図1は本発明の一実施形態による商品情報提示システムの全体構成を示すブロック図。図2は表示用の出力デバイスとして使用可能な各種機器の例を説明する図。図3はデータ構成を説明する図。図4は本発明の一実施形態による商品情報提示システムの動作手順を説明するフローチャート。図5～図7は動作の途中で表示画面の例を示す図である。図1、図2において、

11は販売店であるスーパー、12はメーカーのホームページ、13はサビスプロバイダ、14は公衆回線網、15は顧客住宅、16はパソコン、17はプリンタ、18はセブダ、19はワウス、20はモデム付きゲーム機、21はバッド、22はTV、23はリモコン、25は双方向CATV用セットトップボックス（CATVSTV）である。

【0013】本発明の一実施形態による商品情報提示システムは、図1に示すように、モデム18及びプリンタを有する顧客住宅15内のパソコン16と、商品情報を提供するサビスプロバイダ13と、商品の詳細な情報を提供しているメーカーのホームページ12とが公衆回線網14に接続されて構成される。そして、サビスプロバイダ13には、商品の販売店としての複数のスーパー11から提供される商品の価格情報、在庫情報、イメージ情報等を含むデータベース、お買物計算ソフトが構築される。

【0014】商品情報を知りたい顧客は、自宅内のパソコン16を使用して、サビスプロバイダ13に備えられるデータベースに公衆回線14を介してアクセスし、買物をする商品、商品名等を入力して検索することにより、希望する商品情報を得ることができる。

【0015】利用者が検索したい店舗（商店名）は、予めサビスプロバイダが利用者の居住する自宅の住所から、その住所を中心とした一定の半径距離からその円内を利用地域として限定し、店舗名を自動的に登録して利用者に提供することも可能だが、利用者がこのサビスを登録している全店舗名から毎回検索したい店舗名を選択しておき、サビスプロバイダに登録しておくことも可能である。

【0016】前述では、パソコンを使用してサビスプロバイダが持つデータベースを検索するとしたが、検索のための使用機器としては、図2（a）～図2（c）に示すように、ワウス19、図示しないキーボード等を入力装置として備えるモデム内蔵のパソコン18、操作手段としてバッド21が接続されたモデム付きゲーム機20とこれに接続されたTV22、リモコン23により操作されるパソコン機能を持つモデム内蔵のTV22等であってよい。また、図2（d）に示すように、リモコン23により操作される双方向CATVSTB24を有する公衆回線網に代わってCATV網にTV23が接続され、サビスプロバイダ13としての機能をCATV放送局に持たせるようにすればよい。

【0017】前述において、使用機器にワウス19が備えられていれば、表示画面上に表示される選択ボタンの全ての選択は、ワウス19によりクリックすることにより行うことができる。また、ゲーム機20、リモコンを使用する場合、バッド、リモコンのアップダウンキ

ー、決定キー、入力切替キーを、それぞれ、各パートの中の移動、決定、パート間の移動のために使用することにより表示画面上に表示される選択ボタンの全ての選択、操作を行うことができる。

【0018】また、図示していないが、サビスプロバイダ13は、インターネット上にホームページを開いて、顧客にデータベースを使用させることもできる。

【0019】サビスプロバイダ13にスーパー11から提供される情報は、図3に示すように、各スーパー11に備えられる商品管理データベースからの商品毎の売価を示す価格データのリスト及び在庫データ、商品の写真等のイメージデータである。サビスプロバイダ13は、複数のスーパー11等から提供されたデータをデータベースとして保持管理し、データベースがアクセスされて検索された結果を、表示ソフトにより基本画面に合成して顧客に提供する。

【0020】前述において、利用者は、サビスプロバイダからの情報の全てを、公衆回線網またはCATV網といった通信回線を介して提供されるように説明したが、情報の一部を光ディスクのような他の大容量記憶媒体に置き換えて利用することも可能である。例えば、入出力デバイスとして使用可能な機器は、図2（a）、（b）に示すようなCD-ROMデバイスを利用できるものであり、これらの機器に対しては、CD-ROMに情報を記憶させて、サビスプロバイダが利用者に配布するようにする。CD-ROMデバイスが内蔵されている機器の場合、CD-ROMデバイスに接続して利用すればよい。

【0021】また、このとき、CD-ROMには、データ量が多い、しかも刻々と変化するのではないデータとして、基本画面の画面イメージデータや商品の写真等のイメージデータ等の情報を記憶させておく。これにより、利用者は、写真イメージ等のデータ量の多いデータを通信回線を介して受け取る必要がなくなるので、サビスプロバイダとのデータ授受をスムーズに行うことができる。通信回線網とのデータ伝送速度が遅い場合に有効である。また、通信回線の使用時間を短縮することができるので、回線の混雑を緩和し、回線使用料も節約することができる。

【0022】そして、サビスプロバイダは、媒体の配布を、新しく取り扱う商品が増えることを考慮して、定期的に配布するようにすればよい。ここでは、CD-ROMを例に説明したが、メモリーカードやDVD（デジタルビデオディスク）、MO（光磁気ディスク）といった大容量記憶媒体で配布してもよく、また、商品の写真等のイメージデータの情報を事前に利用者が利用している端末の記録可能な2次媒体（ハードディスクやDVD、MOなど）にダウンロードしておいて利用することもできる。この場合、データのダウンロードに時間がかかるが、1度ダウンロードしておけば、サビス利用時

のデータ授受をスムーズに行うことができるだけでなく、サビスプロバイダは記憶媒体を配布する必要もない。そしてデータに変更があった場合、変更箇所のみだけをダウンロードしなおせばよい。

【0023】次に、図4～図6を参照して本発明の一実施形態の操作手順と表示画面の例とを説明する。

【0024】（1）商品情報を知りたい顧客は、自宅内のパソコン16を使用して、サビスプロバイダ13に備えられるデータベースに公衆回線14を介してアクセスし、あるいは、インターネット上に開かれているサビスプロバイダ13のホームページの商品情報提示のためのデータベースにアクセスする。これにより、例えば、図5（a）に示すように、SHOPPING NAVI等のタイトルと探し方を選択するためのボタンとが表示された初期メニュー画面が表示される（ステップ401）。

【0025】（2）表示された探し方を選択するためのボタンの店舗選択のボタンをワウス等により指示することにより、図5（b）に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名とこれらの店の位置を示す地図とが表示される（ステップ402、403）。

【0026】（3）顧客が買物したい店名を指示すると、その店で提供されている商品の写真等のイメージと価格とが図5（c）に示すように複数商品についてチラシのように表示される。このチラシの画像は、あらかじめ、紙にプリントされたように紙のエッジが切断されているように、また、その隅がまぐれて表示されており、まぐれば、次のチラシの画像がまぐれて表示しており、この部分を指示することにより、ページをめくるように次々とチラシの内容が変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる（ステップ404）。

【0027】（4）ステップ404で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図5（d）に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる（ステップ405）。

【0028】（5）ステップ405の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図5（e）に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ404からの操作を繰り返す（ステップ406、407）。

【0029】（6）ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中の商品選択のボタンをワウス等により指示すると、図5（f）に示すように、こ

のデータベースに登録されている商品ジャンルが表示され、その1つを指示（図示例では食料品を指示している）すると、図5（g）に示すように、そのジャンルの小項目名が表示される（ステップ408、409）。

【0030】（7）ステップ409でそのジャンルの小項目名の1つ、例えば、果物を指示すると、提供されている果物の写真等のイメージ、価格及び販売している店名が図5（h）に示すように複数商品について、前述と同様なチラシにより表示される。このチラシは、画面内に表示されるチラシを示している頁の下欄のまぐれた部分を指示することにより、ページをめくるように次々と変わって販売している果物の全てについての表示が行われる（ステップ410）。

【0031】（8）ステップ410で多くの商品を見ている途中で興味のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6（a）に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることもできる（ステップ411）。

【0032】（9）ステップ411の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6（b）に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に丸印等のマークが付けられる。次の商品を候補として探すのであれば、順にチラシの頁をめくってステップ410からの操作を繰り返す（ステップ412、413）。

【0033】（10）ステップ402で、表示された探し方を選択するためのボタンの中「特売品選択」のボタンをワウス等により指示すると、画面例を示していないが、特売品を店舗名から探さず商品から探すかを選択するためのサブメニュー画面が表示される（ステップ414）。

【0034】（11）ステップ414で店舗名から探すとして「店舗選択」のボタンを指示すると、図6（c）に示すように、このデータベースに商品データを提供している販売店であるスーパー等の店名が表示される（ステップ415、416）。

【0035】（12）顧客が買物したい店名を指示すると、その店で特売品として提供している日替りの限定商品のリストが図6（d）に示すように表示される。このリストの目付けを指示することにより、その目の特売品のチラシが写真等のイメージと価格情報とにより、図6（e）に示すように表示される。多くの商品が特売品として販売されている場合、画面内に表示されるチラシを示している頁のまぐれを表示している下欄を指示することにより、ページをめくるように次々と変わってその店で販売している商品で情報提供されている全ての商品についての表示が行われる（ステップ417、418）。

【0036】（13）ステップ418で商品を見ている途

13

中で現状のある商品を見つけ、その商品の詳細な情報を見たい場合、その商品の表示位置を指示することにより、図6 (f) に示すように、その商品に関する詳細な情報が表示される。ここで、表示画面内の「チラシに戻る」のボタンを指示すればチラシの表示に戻ることができる(スラッシュ419)。

【0037】(14) スラッシュ419の詳細情報を見て、その商品を買物の候補とする場合、表示画面内の「候補」のボタンを指示すると、図6 (g) に示すように、チラシ内のその商品が表示されている位置に印刷のマークが付けられる。次の商品候補として指示のであれば、スラッシュ418からの操作を繰り返す(スラッシュ20、421)。

【0038】(15) スラッシュ415で商品から探すとして「商品選択」のボタンを指示すると、画面例を示していないが、特売品に関する商品ジャンルがスラッシュ408の場合と同様に表示され、その1つを選択すれば、スラッシュ409の場合と同様にそのジャンルの小項目が表示される(スラッシュ422、423)。

【0039】(16) その後、スラッシュ410～413の場合と同様に画面が表示されるので、これにより、商品から特売品の買物の候補を選択していく(スラッシュ424～427)。

【0040】(17) スラッシュ407、413、421、427で次の商品の選択を行わない場合、別の方法で商品を探すことに、別の方法が表示画面により問い合わせられる。ここで、別の方法で商品を探すことを選択すると、スラッシュ401の初期メニュー画面に戻って、スラッシュ401からの操作を再度行うことができる(スラッシュ428)。

【0041】(18) スラッシュ428で購入したい商品を探さないことを選択すると、これまでの操作候補とした商品のリストを表示するか否かが表示画面により問い合わせられる。ここで、リストの表示を行わないことを選択すると、スラッシュ401の初期メニュー画面に戻る(スラッシュ429、430)。(19) スラッシュ429でリストの表示を行うことを選択すると、図6 (h) に示すように、前述までの操作で候補として上げておいた商品と、その商品の購入額、価格とがリストに表示され、消費税を含む合計額が計算されて表示される(スラッシュ431)。

【0042】(20) 顧客は、このリストの商品、総額を見て削除すべき商品があるか否かを判断し不要なものがあれば、リスト上のその商品の欄を指示して「削除」のボタンを指示すると、その商品がリストから削除されて新たなリストが作成され総額が再計算されて表示される。その後、「プリント」のボタンを指示すれば、リストがプリントアウトされる。このリストは、買物に出か

14

けるときに持って行くことにより、店を回る順序等の買物を効率的に行うための参考とされる(スラッシュ2、433)。

【0043】前述の図6 (h) に示したリストの例は、商品と、その商品の購入店、価格とを1つのリスト内に収納しているが、購入店毎にリストを作成できるようにしてもよく、この場合、各店毎の支払額が提示できるようになる。また、リスト内の商品の詳細情報をもう1度見たい場合、リスト上のその商品の欄を指示してワゴンによりダブルクリックを行えばよいようにすることができる。

【0044】前述した本発明の一実施形態は、買物に出かける前にデータベースを使用して買物のリストを作成し、その後の買物を効率的に行うことを可能にするものであるとして説明したが、本発明は、通信販売等のために適用することもできる。

【0045】次に、本発明を通信販売に適用した場合の操作と表示画面の例について説明する。

【0046】本発明を通信販売に適用する場合、前述した表示されるチラシ上の通販可能な商品に「通販可能」のボタンを表示しておく、そして、例えば、特売品のチラシのテレビと電話機とに通販可能なボタンが表示される。ここで、テレビの「通販可能」のボタンを指示すると、スラッシュ418の場合と同様に、その商品の詳細情報が表示される。

【0047】この詳細情報を見て購入することとして「購入」のボタンを指示すると、図7 (b) に示すように、税、配達料金込の価格、複数の配達可能日及び支払方法を選択するボタンが表示される。そして、希望する配達希望日と支払方法とのボタンを選択指示し、支払のためのクレジット情報を入力すると、随時のための画像が図7 (c) に示すように表示されるので、配達日と支払方法を随時確認して、「はい」のボタンを指示する。

【0048】この情報は、データベースを管理しているサーバーコンピュータ13からその商品を販売しているスーパーに公開回線網を介して報告される。報告を受けたスーパーは、支払方法で指定されたクレジット会社との間で支払の決済を行うと共に、指定された日に商品を顧客に配達する。

【0049】本発明の実施形態では、購入したい商品の売場の詳細を表示するようにすることも可能である。この場合、サーバーコンピュータ13は、販売店であるスーパーから売場のレイアウト情報や固定情報として提供してもらい、また、各商品の存在するレイアウト上の位置データを商品データと共に受けて、これらをデータベース上に管理する。これにより、顧客の要求により商品の位置を売場レイアウト上に表示することができる。

【0050】この場合、例えば、前述のスラッシュ431の購入しようとしている商品のリスト表示画面に「売場

15

マップ」のボタンを表示させ、リスト上の商品と売場マップのボタンとを指示することにより、図7 (d) に示すように、売場のマップとその商品がある場所とを表示させるようにすればよい。そして、この表示画面に提示されている「プリント」のボタンを指示すれば、売場のマップをプリントアウトすることができる。

【0051】前述した本発明の実施形態は、商品を探す指標として、販売店、商品ジャンル、特売品を使用し、これから実際に購入する商品を探すとして説明したが、本発明は、商品名をダイレクトに入力して、その商品を探っている各販売店を検索し、さらに、その商品を最も安く販売している店を選択するようにすることもできる。

【0052】この場合、例えば、前述したスラッシュ408における商品ジャンルを選択する図6 (f) に示す表示画面内の「商品ジャンル選択」のボタンの中に、「商品名入力」のボタンを設け、このボタンが選択された場合、キーボードあるいは表示画面上に表示されるキーボードから商品名を入力させ、入力された商品の詳細情報を表示してその情報を活用せ、検索がOKであれば、各販売店におけるその商品の価格をチラシ上に表示する。この場合、その商品を特に安く提供している販売店のものについて安売り店舗候補を表示するようにして、利用者に対して注意を喚起することができる。また、価格の安い順に表示するようにしてもよい。なお、表示画面上に表示するキーボードは、例えば、図7 (e) に示すようなものでもよく、このようにキーの配置を五十音配列とすることで、誰でも容易に商品名を入力することができ、もちろん、JIS配列のキーボードを表示するようにしてもよい。

【0053】前述では、操作を行う機器として、パソコン、TV等の家庭内に設置された機器を使用するとして説明したが、操作を行う機器として、PDA (パームトップ・デバイス) (ラジエーション) 等の携帯情報端末を使用することもできる。この場合、携帯情報端末に無線通信モデムを内蔵させ、携帯電話、PHS (パームトップ・ハンディホン・システム) 等と組み合わせ使用すれば、前述の場合と同様に、屋外においても前述の場合と同様に商品情報を得ることができる。また、GPS (グローバル・ポジショニング・システム) 等の位置検出機能と組み合わせれば、店までの案内、売場までの行き方を示すことができる。

【0054】また、前述の携帯情報端末を利用した場合、利用者には、家庭で通常サーバーコンピュータに接続しておく検索対象の販売店に限らず、出先の地域の販売店及び商品情報にアクセスすることもできる。この場合、携帯情報端末が内蔵し、あるいは携帯情報端末に接続さ

16

れる無線通信モデムは、出先の最寄りの無線基地局と通信することになる。サーバーコンピュータは、この無線基地局の位置情報等から、利用者が現在居るエリアを識別し、そのエリア内の販売店を検索できるように情報を提示する。

【0055】さらに、本発明は、前述において、商品の詳細情報が表示されている画面の中の商品について、そのメーカーがさらに詳細な商品情報等を提供する場合、ホームページを有している場合、その画面内にホームページを見るためのボタンを表示しておき、利用者がこのボタンを選択したとき、メーカーのホームページにアクセスして、より詳細な商品情報、関連する他の商品の情報を提示するようにすることができる。

【0056】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ネットワークを介して、インタラクティブな操作で、ユーザが購入したい商品の詳細情報、その商品がどこで安く手に入れることができるかを検索可能としているので、販売店毎の品物と比較、価格の比較を容易に行うことができる。買物の支援を図るために使用して好適である。

【図面の簡単な説明】
【図1】本発明の一実施形態による商品情報提示システムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】表示用の入出力デバイスとして使用可能な各種機器の例を説明する図である。

【図3】データ構成を説明する図である。

【図4】本発明の一実施形態による商品情報提示システムの操作手順を説明するフローチャートである。

【図5】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

【図6】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

【図7】操作の途中での表示画面の例を示す図である。

【符号の説明】

- 11 販売店であるスーパー
- 12 メーカーのホームページ
- 13 サーバコンピュータ
- 14 公開回線網
- 15 顧客住宅
- 16 パソコン
- 17 プリント
- 18 モデム
- 19 ワイヤ
- 20 モデム付きゲーム機
- 21 パッド
- 22 TV
- 23 リモコン
- 24 双方向CATVセットトップボックス (CATV STV)

【図7】

図7

